

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

TOYOイノベックス株式会社

2025年11月14日

証券コード
6210

インデックス

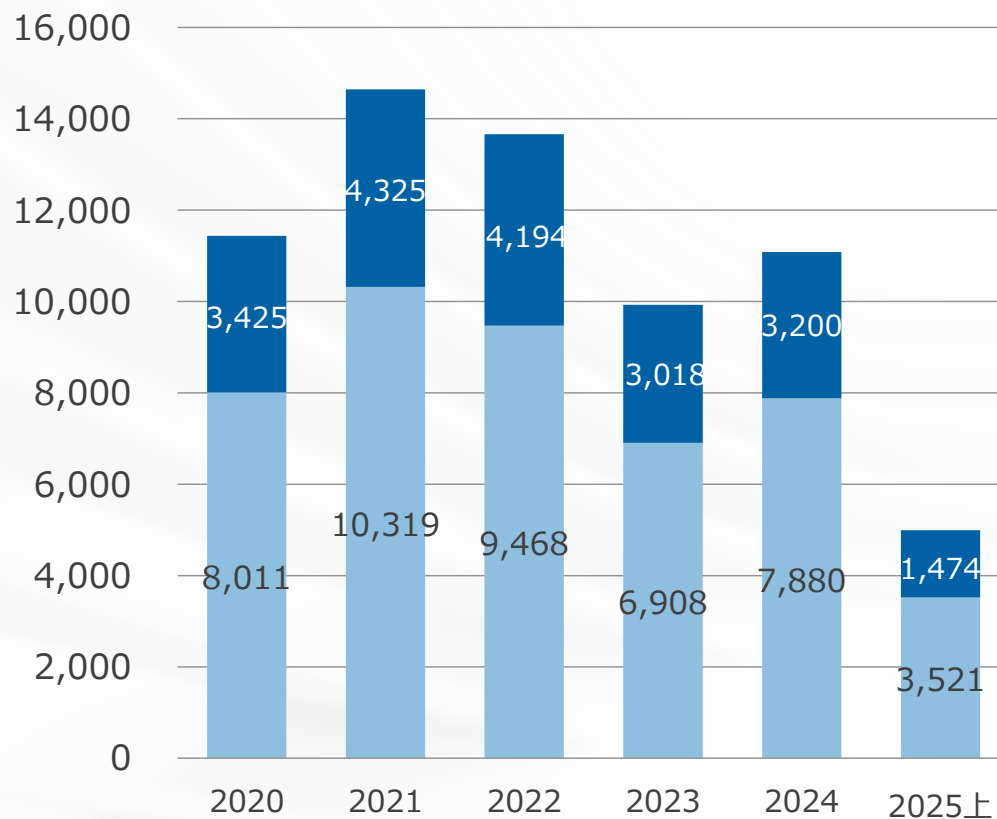
1. 2026年3月期 第2四半期（中間期）業績概要		2
2. 2026年3月期 通期業績予想		9
3. トピックス		14
4. <Appendix>		18

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期）業績概要

事業環境の概要

景気はアジアの自動車関連を中心に回復の兆しがあるものの、
為替変動や物価上昇等の影響を受け、射出成形機の需要は予断を許さない状況

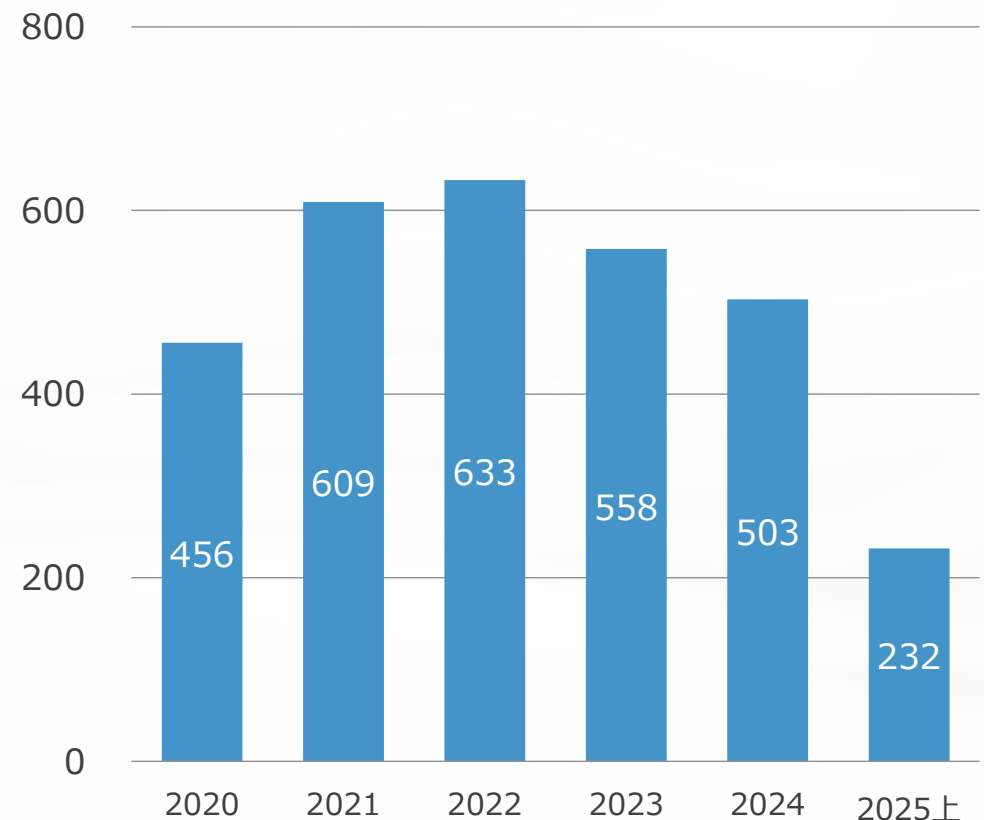
射出成形機出荷台数



■ 射出成形機200t未満 ■ 射出成形機200t以上

出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン出荷台数



■ ダイカストマシン

出典：日本ダイカストマシン工業会

2026年3月期 第2四半期（中間期）経営成績

売上は国内が減少したものの、中国やアジアの自動車関連、欧米の生活用品関連が増加
利益は売上高の増加、コスト低減の影響などにより黒字となる

項目 (単位：百万円)	2024/2Q 実績	2025/2Q 実績	前期比 増減	前期比 増減率	2025/2Q 予想	計画比 増減
受注高	14,921	13,584	△1,337	△9.0%	17,000	△3,416
売上高	12,745	13,652	+907	+7.1%	13,000	+652
営業利益	△431	158	+589	—	△300	+458
営業利益率	△3.4%	1.2%	+4.6P	—	△2.3%	+3.5%
経常利益	△396	306	+702	—	△250	+556
親会社株主に帰属 する中間純利益	△518	176	+694	—	△370	+546
1株当たり中間 純利益	△25.24円	8.61円	+33.85円	—	△17.10円	+25.71円
<参考> 為替レート(USD)	143円	149円	+6円	+4.2%	145円	+4円

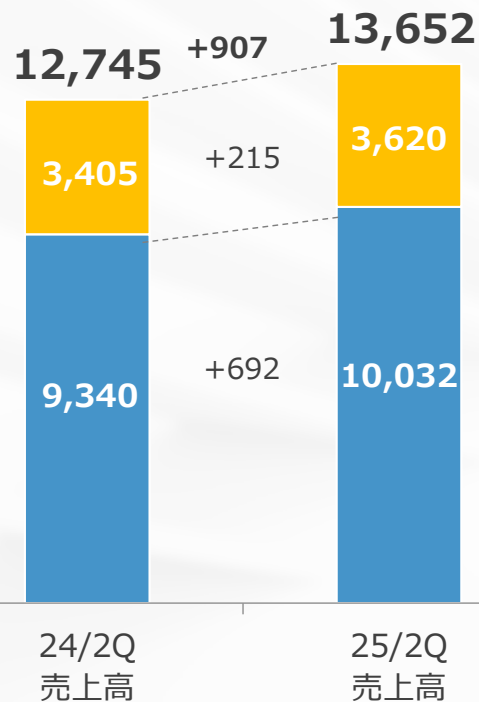
売上高・営業利益の増減要因分析

売上高は射出成形機及びダイカストマシン共に増加
営業利益は販売台数・生産操業度増加などにより、黒字に転換

売上高

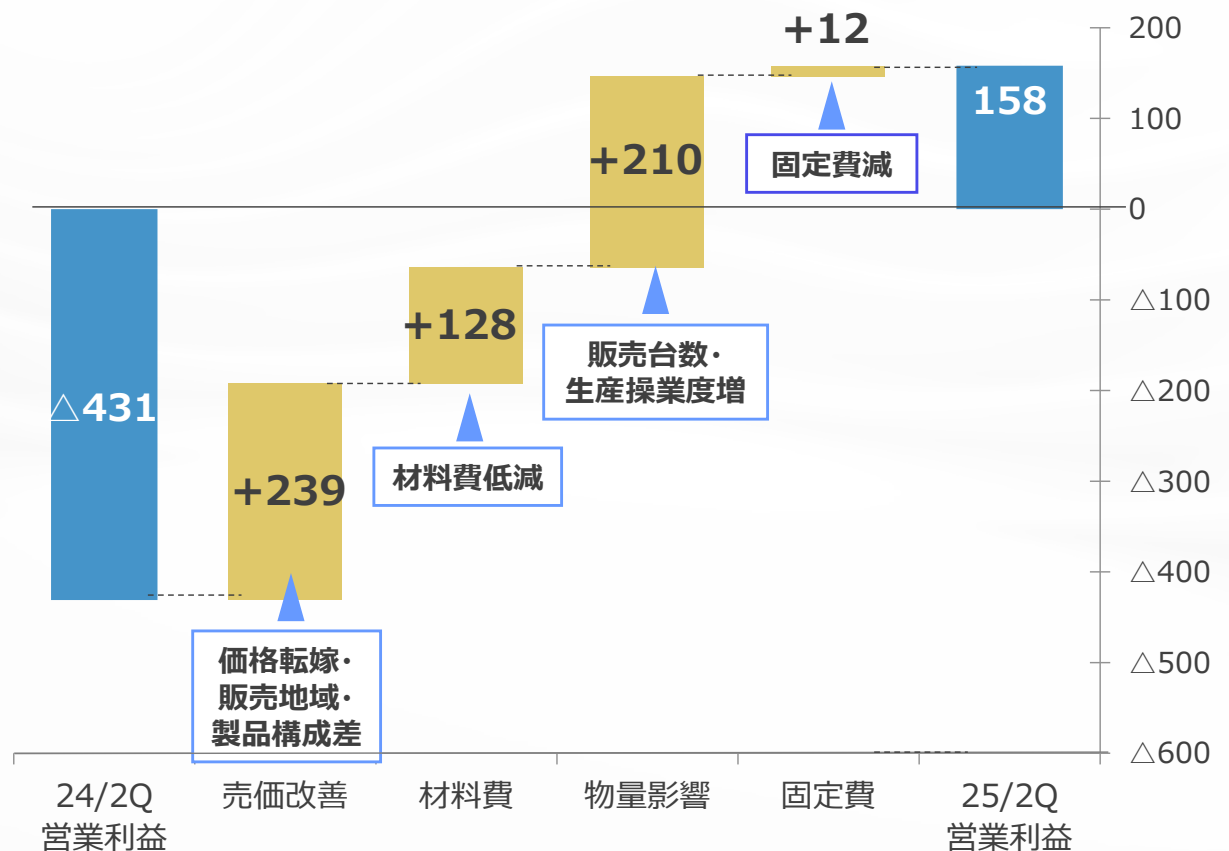
(単位：百万円)

- 射出成形機
- ダイカストマシン



営業利益増減要因分析

(単位：百万円)



製品別受注高・売上高・受注残高

受注高は135億円（前期比△13億円）、受注残高は70億円（前期比△18億円）

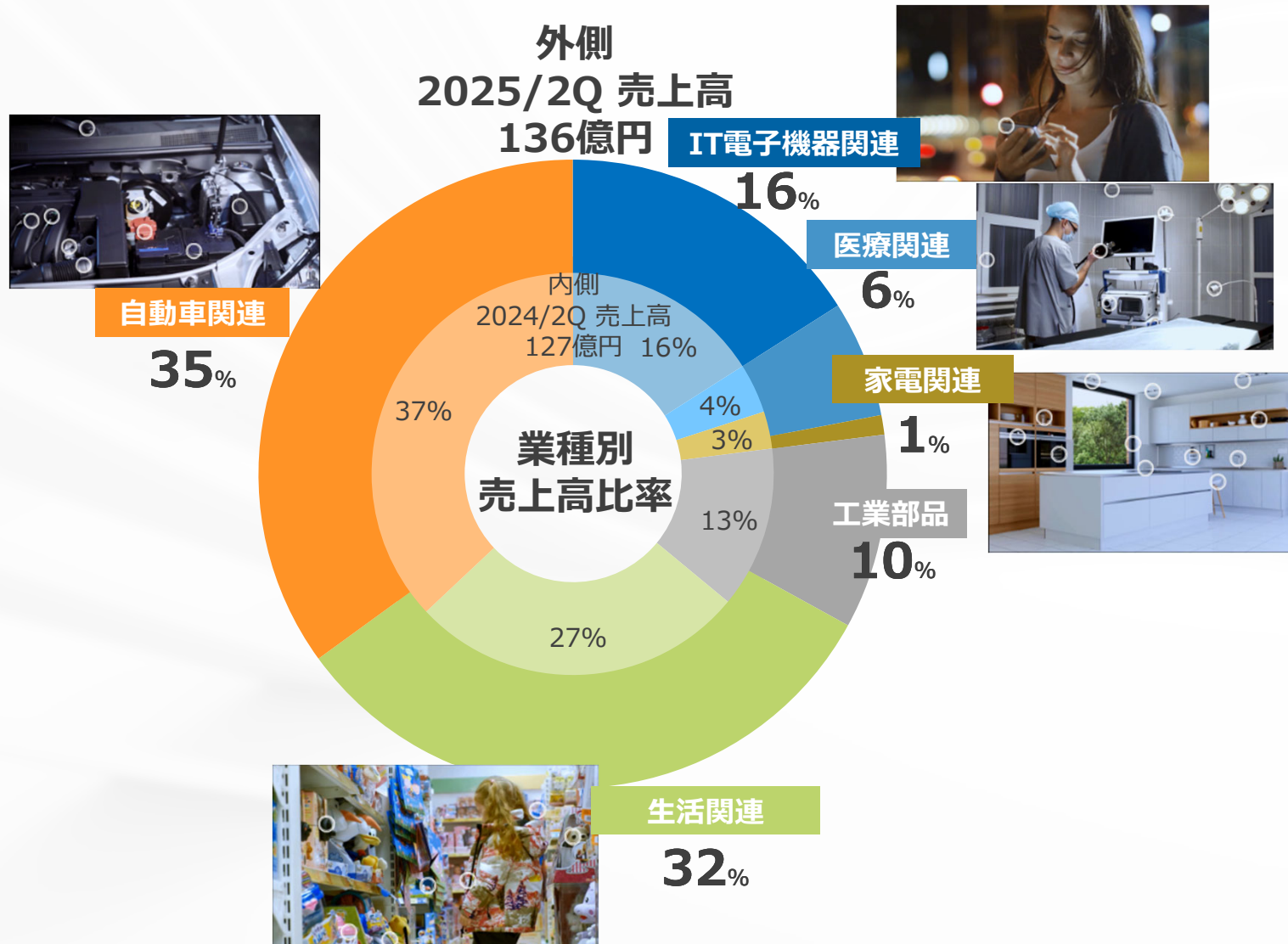
射出成形機 (単位:百万円)	2024/2Q 実績	構成比	2025/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	10,642	71%	9,666	71%	△976	△9.2%
(内、海外)	(7,729)	(73%)	(6,787)	(70%)	(△942)	(△12.2%)
売上高	9,340	73%	10,033	73%	+693	+7.4%
(内、海外)	(6,126)	(66%)	(7,702)	(77%)	(+1,576)	(+25.7%)
受注残高	5,470	62%	4,310	61%	△1,160	△21.2%

ダイカストマシン (単位:百万円)	2024/2Q 実績	構成比	2025/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	4,279	29%	3,918	29%	△361	△8.4%
(内、海外)	(3,155)	(74%)	(2,929)	(75%)	(△226)	(△7.2%)
売上高	3,405	27%	3,619	27%	+214	+6.3%
(内、海外)	(2,274)	(67%)	(2,692)	(74%)	(+418)	(+18.4%)
受注残高	3,366	38%	2,721	39%	△645	△19.2%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別売上高の動向

生活用品関連の比率は増加
自動車関連の比率は減少



【自動車関連】

アジア向けの射出成形機・中国向けのダイカストマシンが増加

【IT関連】

中国向けの小型射出成形機が増加

【生活関連】

欧州・米国向けの中・大型射出成形機が増加

【工業製品】

国内向けの射出成形機・中国向けのダイカストマシンが減少

【家電関連】

国内・中国向けの射出成形機が減少

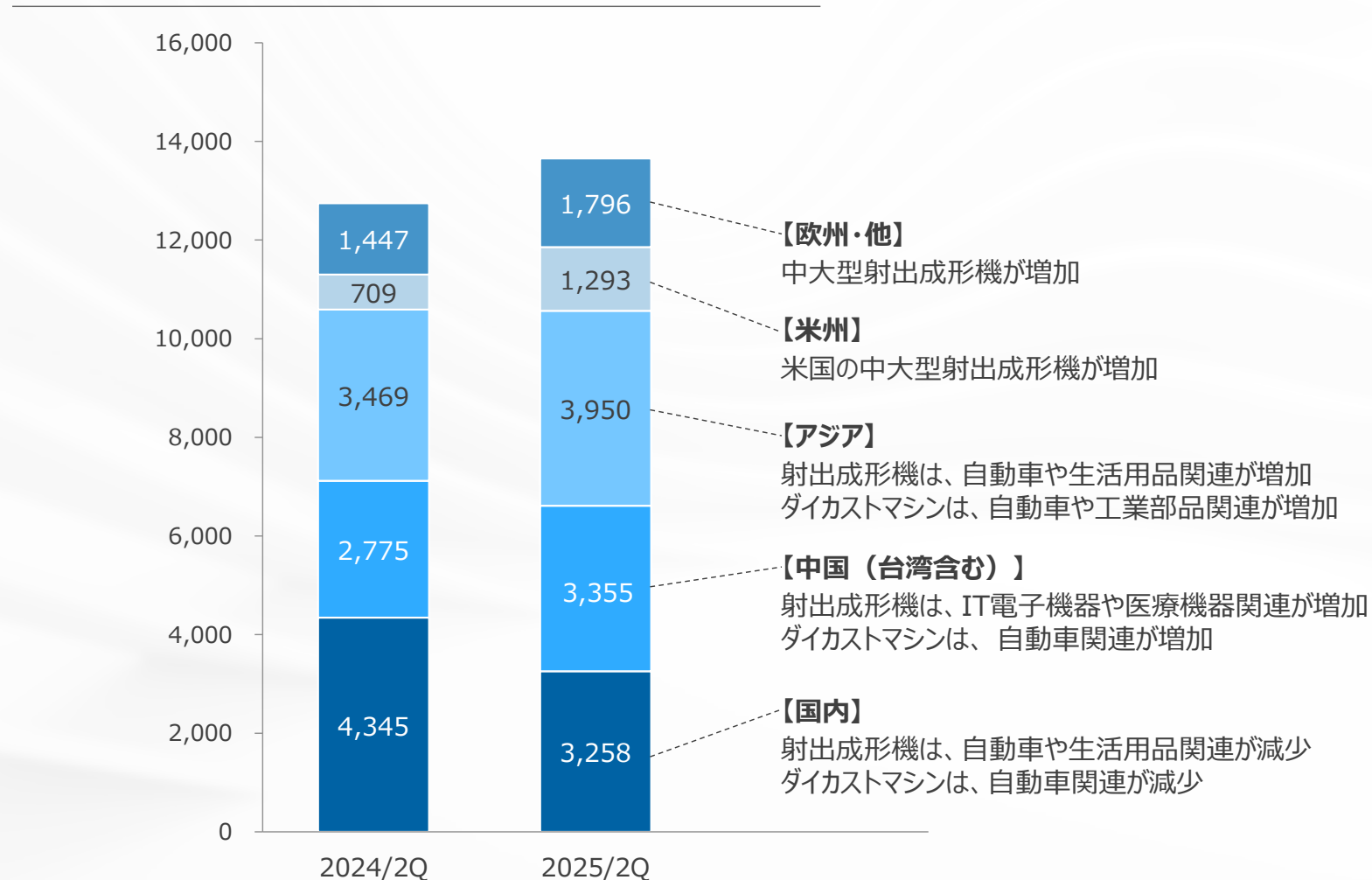
【医療関連】

中国向けの射出成形機が増加

地域別売上高の動向

国内は減少したものの、海外（中国、アジア、米州、欧州・他）は増加

地域別売上高推移 (単位:百万円)



2. 2026年3月期 通期業績予想

2026年3月期 通期の業績予想

2026年3月期の市場は、需要は低調に推移すると予想されるが、
短納期生産対応や生産効率向上効果で営業損益は3億円を見込む

項目 (単位：百万円)	2024年度 実績	2025年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減額
受注高	27,462	30,000	+2,538	+9.2%
売上高	27,024	30,000	+2,976	+11.0%
営業利益	△521	300	+818	－
営業利益率	△1.9%	1.0%	+2.9P	－
経常利益	△427	400	+828	－
親会社株主に帰 属する当期純利 益	△845	150	+995	－
1株当たり 当期純利益	△41.18円	7.33円	+48.51	－
<参考> 為替レート (USD)	150円	140円	△10円	△6.7%

製品別 受注高・売上高・受注残高予想

受注高は300億円（前期比+25億円）、売上高は300億円（前期比+29億円）
受注残高は70億円（前期と同額）を予想

射出成形機 (単位:百万円)	2024年度 実績	構成比	2025年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	20,299	74%	21,500	72%	+1,201	+5.9%
(内、海外)	(14,796)	(73%)	(15,700)	(73%)	(+904)	(+6.1%)
売上高	19,789	73%	21,800	73%	+2,011	+10.2%
(内、海外)	(13,552)	(68%)	(16,500)	(76%)	(+2,948)	(+21.8%)
受注残高	4,676	66%	4,376	62%	△300	△6.4%

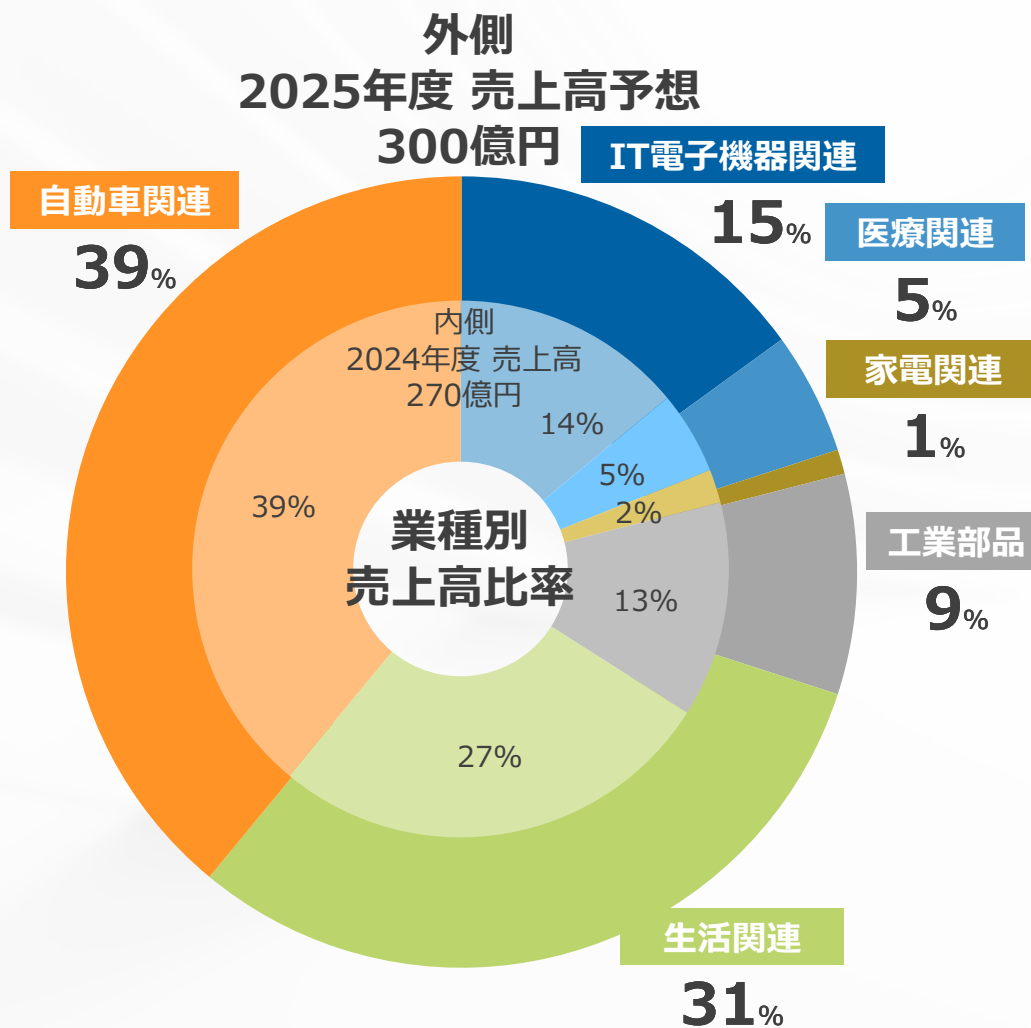
ダイカストマシン (単位:百万円)	2024年度 実績	構成比	2025年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	7,163	26%	8,500	28%	+1,337	+18.7%
(内、海外)	(5,437)	(76%)	(6,500)	(76%)	(+1,063)	(+19.6%)
売上高	7,235	27%	8,200	27%	+965	+13.3%
(内、海外)	(5,234)	(72%)	(6,200)	(76%)	(+966)	(+18.5%)
受注残高	2,422	34%	2,722	38%	+300	+12.4%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別・地域別 売上高予想

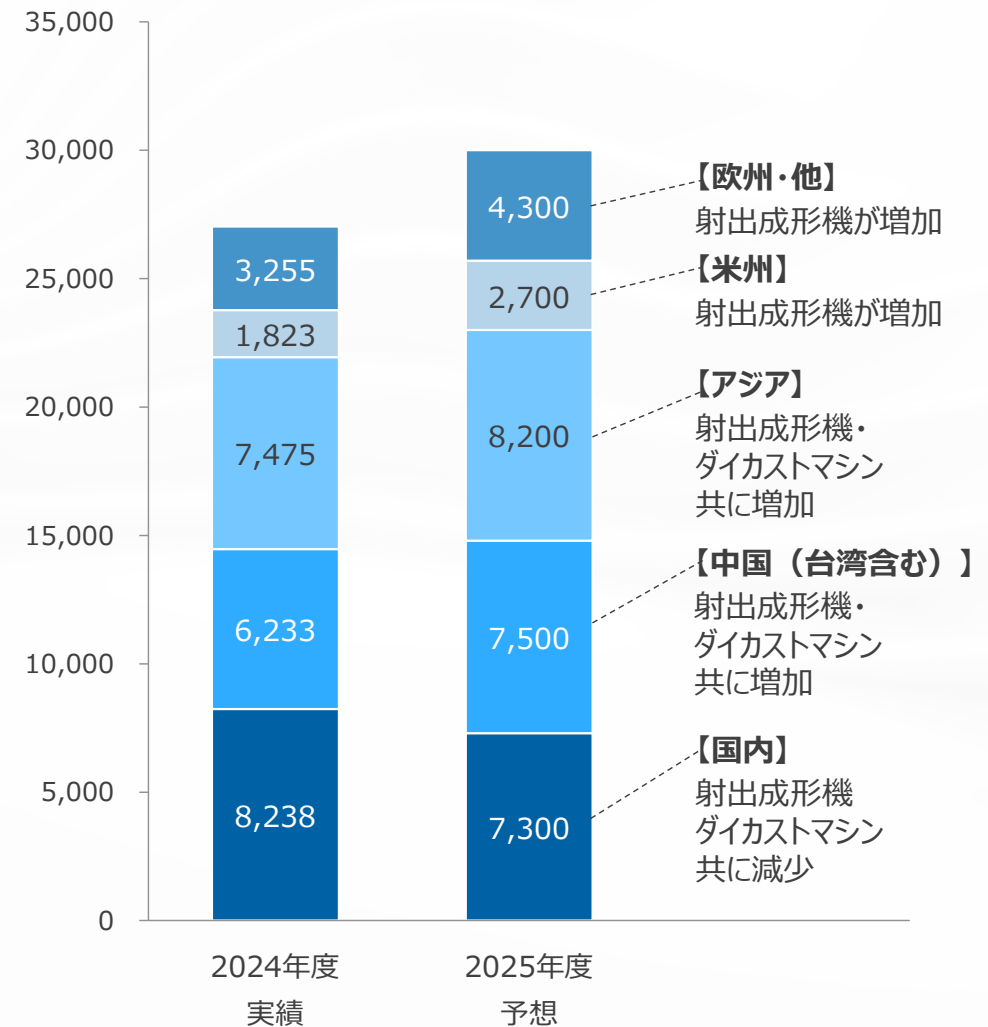
中国、アジア地域での自動車関連、米州、欧州・他地域での生活用品関連の需要を取り込む

業種別売上高構成予想



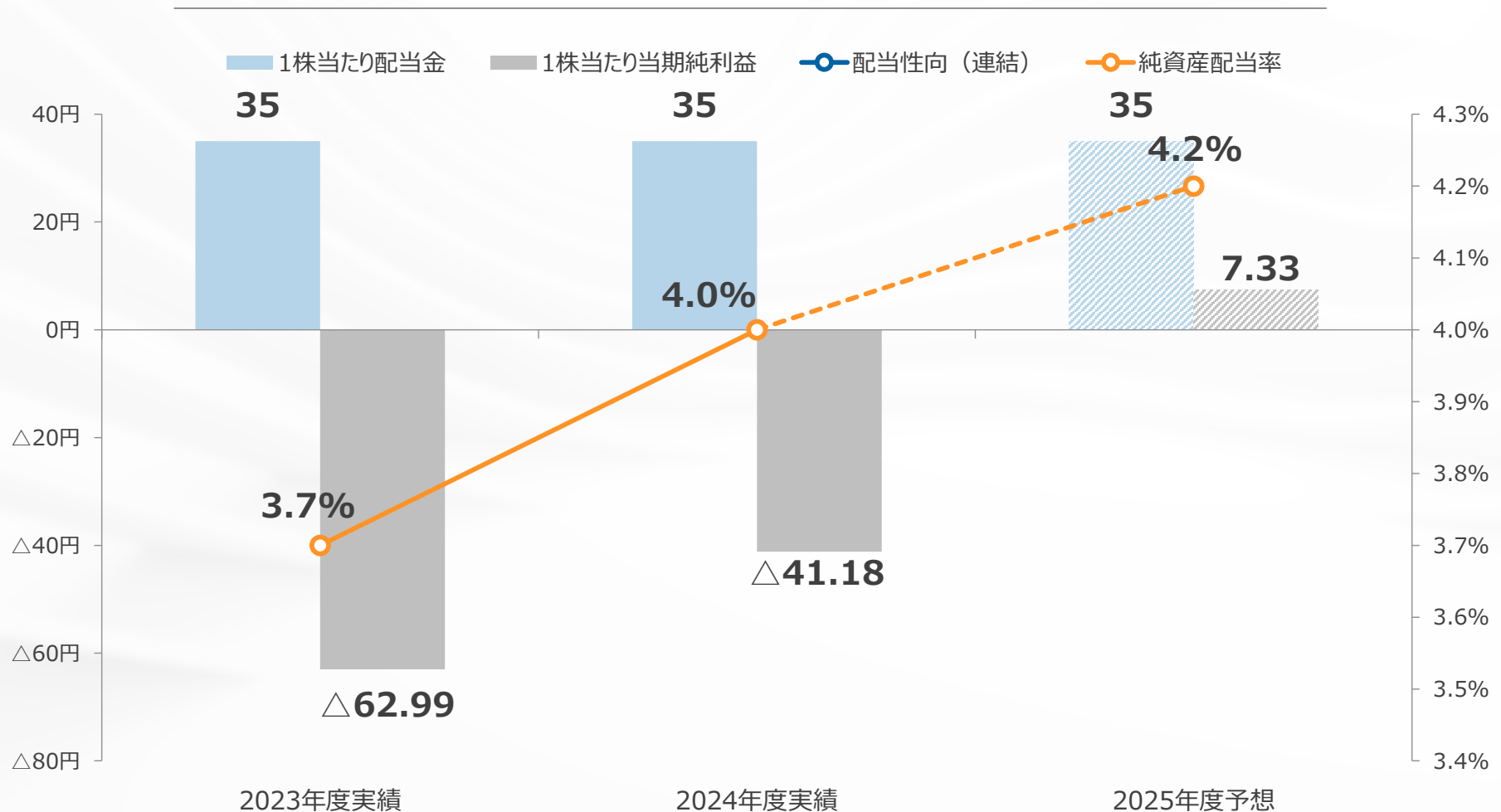
地域別売上高予想

(単位:百万円)



株主還元について

2025年度の間配当金は、1株につき17円50銭を実施
2025年度の年間配当金は、1株につき35円（期末17円50銭）を予定
中期経営計画2026の財務戦略「B S マネジメント方針」に基づき、株主還元を継続



3. トピックス

トピックス① ～ おかげ様で100周年 ～

創業100周年感謝祭を明石・本社工場で開催！



大盛況のメイン会場：
たくさんのご家族の方にご来場いただきました



射出成形機（Si-7）実演会場：
見学会を実施、成形したタッパーをプレゼント



お仕事体験：
部品の取付に挑戦！



スクリー・加熱筒
展示コーナー



当社の部活動を紹介
（陸上部ほか）



お子様からの
メッセージコーナー

トピックス② ～ 新施設紹介 ～

成形イノベーションセンターを新たに開設



打ち合わせ・セミナースペース



成形トライ（試作）エリア、周辺機器も完備

- 設備の充実化を図り、成形トライ・技術スクール実施機会の増加が可能
・最新機種の高品質・性能を訴求し、新規顧客の獲得と既存顧客の設備更新をプロモート。
- プラスチック成形技能士技能検定 兵庫県検定会場として引き続き提供



お客様の満足度向上、Customers' Value UP のさらなる進化へ

トピックス③ ～ 海外展示会情報 ～

ドイツ・デュッセルドルフ K 2025 国際プラスチック・ゴム産業展へ射出成形機を出展



K 2025とは

3年に一度、ドイツ・デュッセルドルフにて開催される世界最大級のプラスチック・ゴム専門展示会。射出成形機や周辺機器、バイオプラスチックなどの樹脂素材、関連する金型技術など樹脂成形に関する最新製品やサービスが集まる。
今回の開催期間は10月8日から10月15日まで。

- 出展者数：66か国、3,275の出展者
- 来場者数：約160か国、175,000人以上
(主催者発表)

TOYO INNOVEX Group 展示機

Si-7 series

多機能性を追求した最新の高性能モデル
ホットプリンティングを用いた成形を実演



Si-180-7

Si-6s series

欧州市場向け
カスタマイズモデル



Si-230-6S

高度成形技術による医療用容器の成形を実演

Si-350-6S

ハイサイクルと省エネルギーを両立したモデル
フードコンテナの成形を実演



4. Appendix

貸借対照表 (B/S)

資産の部 (単位:百万円)	25/3末 実績	25/9末 実績	増減	コメント
流動資産	21,328	21,133	△195	受取手形及び売掛金が2億円増加、現金及び預金が1億円増加、流動資産は1億円増加。
現金及び預金	4,829	4,932	+102	
受取手形及び売掛金	7,062	7,302	+239	
棚卸資産	8,078	8,057	△21	
固定資産	8,771	8,764	△7	投資その他資産が1億円増加、有形固定資産が1億円減少。
有形固定資産	7,332	7,162	△169	
無形固定資産	291	279	△11	
投資その他資産	1,148	1,321	+173	
資産合計	30,100	29,898	△202	

負債・純資産の部 (単位:百万円)	25/3末 実績	25/9末 実績	増減	コメント
負債合計	12,443	12,640	+197	有利子負債が7億円増加、支払手形及び買掛金が1億円増加、負債合計は1億円増加。
支払手形及び買掛金	3,833	3,956	+123	
有利子負債残高	3,480	4,260	+780	
純資産合計	17,657	17,257	△400	前期の期末配当等により、4億円減少。
負債・純資産合計	30,100	29,898	△202	

キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュフローは2億円の支出となり、前期比+1億円

(単位:百万円)	2024/2Q 実績	2025/2Q 実績	増減	変動要因
営業活動による キャッシュ・フロー	288	468	+180	未収消費税等の減少や減価償却費などにより、4億円の収入。
投資活動による キャッシュ・フロー	△603	△690	△87	有形固定資産の取得などにより、6億円の支出。
財務活動による キャッシュ・フロー	737	404	△333	短期借入金の純増額により4億円の収入。
現金及び現金同等 物に係る換算差額	208	△78	△286	
現金及び現金同等 物の増減額	631	102	△529	前期6億円のプラスから今期は1億円のプラス。
現金及び現金同等 物の期首残高	6,167	4,829	△1,338	
現金及び現金同等 物の期末残高	6,799	4,932	△1,867	49億円となり、前年同期から18億円の減少。

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

“成形イノベーション”で豊かな未来を創る



TOYO INNOVEX

連絡先 TOYOイノベックス株式会社 経営企画室

TEL. (078) 942-2345 (代表)

URL. <http://www.toyo-invx.com>

TOYOイノベックス株式会社
本社・工場 2025年4月1日